

表3 S P F 山羊群の検査及び処置

令和2年6月30日（告示第1246号）一部改正

病 原 体	供試抗原 ¹⁾	検査時期及び検査頭数		検査方法 ²⁾	処 置
		時 期	頭 数		
ロタウイルス	栃木	3 か月 毎	群5頭又は10%のいずれか多い頭数	SN	抗体陽性群・同居群 ³⁾ 全殺
牛アデノウイルス	袋井	〃	〃	SN	〃
アカバネウイルス	JaGAR39	〃	〃	SN	〃
オーエスキー病ウイルス		〃	〃	臨床症状	陽性群・同居群 全殺 抗
ブルータンクウイルス		〃	〃	ゲル沈	体陽性群・同居群 全殺
牛伝染性鼻気管炎ウイルス	No. 758	〃	〃	SN	〃
パラインフルエンザ3 ウイルス	BN-1	〃	〃	HI	〃
山羊関節炎・脳炎ウイルス		〃	〃	臨床症状	陽性群・同居群 全殺 抗
伝染性膿疱性皮膚炎ウイルス		〃	〃	SN	体陽性群・同居群 全殺
マエディ・ビスナウイルス		〃	〃	SN	〃
日本脳炎ウイルス	中山	〃	〃	HI	〃
悪性カタル熱ウイルス	ウシカモシカ型	〃	〃	IFA	〃
パスツレラ ムルトシダ		〃	〃	菌分離	陽性群・同居群 全殺
マイコプラズマ		〃	〃	菌分離	〃
レプトスピラ		〃	〃	臨床症状	〃
ウシ結核菌、ヒト結核菌		〃	〃	ツベルクリン反応	抗体陽性群・同居群 全殺
ヨーネ菌		〃	〃	ヨーニン反応	〃
サルモネラ		〃	〃	菌分離	陽性群・同居群 全殺
ブルセラ		〃	〃	AGG	抗体陽性群・同居群 全殺
流行性出血病ウイルス ⁴⁾					
牛痘ウイルス、ワクシニアウイルス ⁴⁾					
口蹄疫ウイルス ⁴⁾					
リフトバレー熱ウイルス ⁴⁾					
山羊ヘルペスウイルス ⁴⁾					
ボーダー病ウイルス ⁴⁾					
小反芻獣疫ウイルス ⁴⁾					
羊痘ウイルス ⁴⁾					
牛疫ウイルス ⁴⁾					
ナイロビ羊病ウイルス ⁴⁾					

注 山羊の健康状態、異常な点等については全て記録する。死亡した山羊については病理組織学的検査等を行う。

1) 供試抗原は、他の適切な株を使用してもよい。

2) 同等な検査方法があればその検査法を採用してもよい。検査方法は、その妥当性が検証され、保証された方法で実施すること。 HI：赤血球凝集抑制反応 ELISA：免疫酵素抗体法 SN：血清中和試験 IFA：間接蛍光抗体法

AGG：凝集反応 ゲル沈：寒天ゲル内沈降反応

- 3) 同居群とは、陽性群と完全に隔離されていない群をいう。
- 4) 国内で発生がない（又は重要度が低い）ものについては、抗原、試験法及び処置については発生国が実施している方法を重視する。